

PSC

Annual Report 2011

**2011 年度
事業報告他**

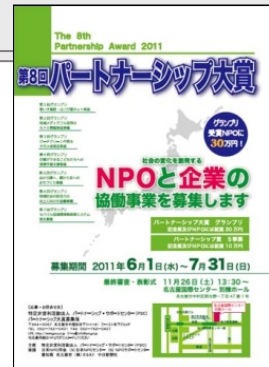
■センターの主な事業

1. 「パートナーシップ大賞」事業

第8回 パートナーシップ大賞 <自主事業>

2002年度から開始し、8回目の実施。NPOと企業のパートナーシップを確立し、活性化することにより、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目指し開催している自主事業。

「第8回パートナーシップ大賞」では、これまでの事業内容に加え、東日本大震災を受けNPOと企業が協働で行っている被災地での救援、復旧、復興支援の活動や、被災地におけるこれまでのパートナーシップ大賞応募事業のその後の活動等も紹介することで、PSCらしい復興支援事業となった。



目的	・NPOと企業の優れた協働事業を顕彰することによって、社会や地域のさまざまな課題を浮かび上げさせ、その解決方法を示していく。
目標	・応募数 30件 ・最終審査・表彰式への参加者 120名 ・「第7回パートナーシップ大賞」事例集を出版（9月15日発行）
成果と課題	・募集に際しては東日本大震災の影響が懸念されたが、全国各地のNPO支援センター等の協力も得られ、目標30件に対して29件の応募とほぼ達成（東日本大震災関連事業は4件）。 ・応募地域は、第1回からの累計で34都道府県に広がった。 ・最終審査・表彰式への参加者は110名であり、次回は参加者の増加策を検討したい。 ・課題は、協賛金を含めた資金確保。

1) 募集・最終審査・表彰式の開催

◆審査委員:

奥野信宏氏(中京大学理事・総合政策学部 教授)
飯尾歩氏(中日新聞社 論説委員)
梅原みどり氏(ソフトバンクモバイル(株) 総務本部 CSR推進部)
黒田かをり氏((一財)CSO ネットワーク 事務局長・理事)
森撰氏(株オルタナ 代表取締役社長)
岸田眞代(PSC 代表理事)

- ・募集期間 : 6月1日(水)～7月31日(日)
応募総数 29件 (P38資料編*1を参照)
- ・第一次審査 : 8月27日(土)、28日(日)
11事業を選出
- ・ヒアリング調査 : 9月上旬～10月上旬
- ・第二次審査 : 10月29日(土)、30日(日)
6事業を選出
- ・最終審査 : 11月26日(土)13:30～17:00
名古屋国際センター 別棟ホール

*協賛企業

トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、(株)ジェー・シー・エム、(株)アバンセコーポレーション、(財)中部産業・地域活性化センター

*最終審査会場にて、東日本大震災支援関連の協働事業をパネル展示(P27参照)

2) 運営委員会の開催

1)の審査日以外に運営委員会の開催は、次のとおり。


- ・5月15日(日)
本年度パートナーシップ大賞運営について
- ・2月8日(水)
「第8回パートナーシップ大賞」のふりかえりと次年度計画について

◆運営委員:


面高俊文氏(元(株)デンソー 総務部長)
河井孝仁氏(東海大学文学部広報メディア学科 教授)
小室達章氏(金城学院大学現代文化学部情報文化学科 准教授)
高浦康有氏(東北大学大学院経済学研究科 准教授)
杉田教夫氏(元(N)パブリックリソースセンター プログラムオフィサー)
津田秀和氏(愛知学院大学経営学部 准教授)
藤野正弘氏((N)きょうとNPOセンター 理事)
手塚明美氏(藤沢市市民活動推進連絡会 理事)
長谷川直哉氏(法政大学人間環境学部 教授)
横山恵子氏(神戸学院大学経営学部 教授)

■ 最終審査結果

● パートナーシップ大賞 グランプリ

子どもたちに給食を届ける、心のそしな事業	(N) アクセス—共生社会をめざす地球市民の会／近畿労働金庫 (京都府・大阪府)	
<p>労働金庫を利用する人に窓口で渡す「粗品」の代わりに、粗品分の費用をフィリピンの貧しい子どもたちへの給食代として寄付するしくみを労働金庫が考案。フィリピンの貧困問題に取り組むNGOのコーディネートで、現地の子どもの母親に給食を作ってもらうことにより、親の教育意識を高める狙いもある。預金者は、預金をするだけで小額の寄付を抵抗なく行える、新しい寄付のしくみ。</p>		

● パートナーシップ賞

OKUTAこめまめプロジェクト事業 (N) 生活工房つばさ・游／(株)OKUTA (埼玉県) * オルタナ賞受賞	
<p>有機米の購入により企業、NPO、地域住民が地域の農業を支えるCSA(コミュニティー・サポーターズ・アグリカルチャー)プロジェクト。NPO が懸け橋となり、企業単位で有機農家と提携する先駆的な協働事業。自ら食べ物やエネルギーを作り出す「自給力」を高めサステナブルな地域社会づくりを目指す試み。</p>	
中海・飯梨川の自然再生・牧草栽培事業 (N) 自然再生センター安来支部／(株)中島建設 (島根県)	<p>島根県飯梨川で、市街域内の河川敷・堤防に密生して環境を損ねていた竹や雑草木を、建設関連の地元企業・行政・住民が連携して伐採除去し、その協働実践で開けた河川敷の一部を、住民も企業も使え、水遊び・環境教育もできる「親水広場」に、その他を牧草ゾーンに整備し牧草を販売。自然再生から新たな生産拠点を生み出す、いわゆる循環再生型社会の構築を目指す。</p>
病気の子も達への夢のアイテム実現事業 (N) チャイルド・ケモ・ハウス／(株)長谷川綿行 (大阪府・愛知県)	<p>「がんになっても笑顔で育つ！」をスローガンに小児がんの子どもとその家族を支援。治療中の子どもの痛みを和らげたり、不安や恐怖心を少しでも取り除くことを目的とした衛生製品や、病室の家具・カーテンなどの住環境製品を、医療衛生製品製造販売のメーカーとの共同開発で製品化。全国の病院やクリニックに拡販を目指す。NPO のミッションである「夢の病院」実現に向け展開中。</p>
古本ネットワークで拓く共生社会事業 フェア・ワーク・JAPAN／松坂ティームコンサルタンツ(株) (東京都)	<p>企業・団体・個人等から寄贈された古本を、障がい者が回収・清掃、さらにデータ入力等の作業を行い、企業が開発したビジネスモデルと古書販売プラットフォーム(書籍通販サイト等)を活用して販売する事業。事業として着実に成長しており、これによって、福祉作業所で働く障がい者に多様な労働機会を提供している。</p>
中古自転車再生を通じた被災地支援事業 (N) アジア車いす交流センター(WAFCA)・(N) せんだい・みやぎNPOセンター／(株)デンソー、刈谷市役所 (宮城県・愛知県)	<p>地元市役所と、アジアの障がい者に対し車いすの修理と寄贈等を行う障がい者福祉団体と自動車部品製造メーカーが連携し、東日本大震災直後にいち早く現地の状況を調査し、現場のニーズに合った自転車を寄贈した事業。行政・NPO・民間企業の連携が市民の共感を呼び、不要自転車を再生し、迅速な被災者支援に結びつけた。</p>

* 第一次審査では、上記の6事業の他に次の5事業が選出され、調査対象となった。

- ・晋昭開発「のわみ」シェルター協働運営事業(愛知県)／のわみ相談所、(株)晋昭開発
- ・東北大震災キャッシュ・フォー・ワーク事業(山形県、宮城県)／(N) 国際ボランティアセンター山形(IVY)、向井建設(株)東北支店
- ・キフボン・プロジェクト事業(東京都)／(N) 育て上げネット、(株)バリューブックス
- ・キレイの力で復興支援りびボラ事業(愛知県、神奈川県)／(N) 全国福祉理美容師養成協会、東海ゴム工業(株)、(株)ラッシュジャパン
- ・まごころの郷事業(岩手県)／(N) 遠野まごころネット、柏木平レイクリゾート(株)

3) 第7回パートナーシップ大賞受賞事例集の出版

『NPO&企業 協働評価 目指せ! 「パートナーシップ大賞」』

(A5判 136ページ / 9月発行 1,470円 サンライズ出版)

環境に関わる事業については、三井物産環境基金 2010 年度活動助成の一部を充当。

- ・編集時期: 2011年4月～9月
- ・編集担当: PSC 山崎恵美子、木内奈央



2. コラボレーション事業

(1) 第6回 企業&NPO 協働アイデアコンテスト

<(財)中部産業・地域活性化センター (CIRAC) との協働事業>

CIRAC との協働により 2006 年度から開始し、6 回目の実施。NPO による企業との協働アイデアを募集し、最終選考では公開プレゼンテーションを行い、優秀な団体には協働実現に向けたフォローアップをする。NPO から企業へ協働事業実施の働きかけの場を設定し、NPO と企業の協働を推進する事業。

PSC と CIRAC の両者の協働により募集、審査、最終選考会&表彰・交流会などを実施した。
(収入規模 800 千円)



目的	・ NPO から企業へ協働事業実施の働きかけの場を設定することで、NPO と企業の協働を推進する。
目標	・ 応募数 20 件 ・ 最終選考会参加者 100 名 ・ 過去の受賞者を含め企業との協働の実現
成果と課題	・ 最終選考会の参加者数は 101 名、アイデア応募数は 20 件。目標には達しているが、次回は応募数の増加策を検討したい。 ・ 本年度は追加助成の該当はなし。入賞団体への協働実現に向けたサポートを強化する。

1) 企業との協働事業アイデアを募集

・ 中部広域 9 県 (愛知、岐阜、三重、静岡、長野、石川、福井、富山、滋賀) の NPO を対象。

・ 募集期間 : 8 月 20 日 (土) ~ 10 月 20 日 (木)

・ エントリー期間: 8 月 20 日 (土) ~ 9 月 20 日 (火)
エントリー数 22 団体

・ 応募期間 : 9 月 21 日 (水) ~ 10 月 20 日 (木)
アイデア応募数 20 事業

・ 中部 9 県のうち、7 県 (石川・愛知・滋賀・岐阜・三重・静岡・長野) から応募があった。

(P38 資料編*2 を参照)

2) 一次審査 (書類選考)

・ 日時: 11 月 7 日 (月)

・ 会場: (財) 中部産業・地域活性化センター 会議室

・ 書類選考を行い、最終選考会でアイデアをプレゼンテーションする 5 団体を決定。

・ 審査担当者:

CIRAC 小林宏之氏・宮田尚芳氏・榊原元氏・深谷宏氏

PSC 岸田眞代・山崎恵美子・鬼頭直美

3) プレゼン事前指導の実施

・ 最終選考会に向けて、プレゼンの相談受付やアドバイス等を実施。(11 月中旬~12 月中旬)

4) 最終選考会&表彰・交流会

・ 日時: 12 月 16 日 (金) 15:00~19:00

・ 会場: 名古屋栄ビル 12 階

・ 参加者数: 101 名 (プレゼン団体含む)

・ アイデアプレゼンテーションおよび審査・表彰

◆審査員:

古田真二氏 (中部電力株 経営戦略本部 CSR・業務改革推進グループ長)

伊藤政典氏 (株三菱東京UFJ銀行 企画部部長)

中野充康氏 (愛知県民生活部社会活動推進課 主幹)

小林宏之氏 (CIRAC 専務理事)

岸田眞代 (PSC 代表理事)

■ 最終選考結果

<p>●最優秀賞 持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪（長野県塩尻市）</p> <p>「CMによるNPOの広報力アップおよび地域活力の見直し事業」</p>	<p>CM制作のサポート(技術面、機材など)を受け、NPOのCMを制作し、インターネット配信から、地域に根ざしたケーブルテレビなどへの配信に繋げる。</p>
<p>●優秀賞 (N) 障がい児者、高齢者を癒し支援する会（愛知県西尾市）</p> <p>「障がい児者の無心な絵画のリース並びに商業意匠としての活用事業」</p>	<p>障がい児者による絵画等の作品を常設展示、即売及び、企業等にリースする。また企業等で、商品等のデザインとして活用してもらう。</p>
<p>●特別賞 (N) 名古屋青少年活動支援ネット（名古屋市）</p> <p>「障害者自立支援のための新規雇用創出事業」</p>	<p>廃棄するパソコンやOA機器を安価、もしくは無償で回収し、就労支援団体が支援する障害者に、マテリアル部材に解体する作業を依頼。就労機会を増大させ、雇用を創出する。</p>
<p>●奨励賞 (N) クローバ（岐阜県岐阜市）</p> <p>「岐阜プレママフェスタ（岐阜のプレママのためのイベント展示会）」</p>	<p>岐阜近郊に暮らす結婚を控えたカップルや出産前の女性及び夫婦を対象に、子育てについての不安が解消できるようなイベントを開催する。</p>
<p>●奨励賞 FS 中部/親子のふれあいと絆を大切にする会（愛知県半田市）</p> <p>「ビジテーションサービス」</p>	<p>ビジテーションサービス(面会交流支援)として、欧米のモデルを参考にイベント(キャンプなど)・シンポジウム・お茶会(情報提供会)・学習塾・面会交流などを行う。</p>



最終選考会



交流会



最優秀賞の受賞者

◆ミニ講演:「アイデアコンテストからパートナーシップ大賞へ」第2回最優秀賞受賞その後の報告:
小笠原恵美子氏((N)長野サマライズ・センター)



第2回アイデアコンテスト最優秀賞受賞後、協働が実現し第7回パートナーシップ大賞のグランプリを獲得するまでの経緯を報告。

5) 受賞団体のフォローアップと協働アイデア実現をサポート

・第6回入賞団体を対象にしたフォローアップ会を2012年度に実施。



(2) 経済団体（等）を巻き込む「SB&企業の連携」推進事業

＜経済産業省 地域新事業移転促進事業ソーシャルビジネス・企業連携支援機能強化事業＞

本年度の新規事業。企業とNPOを中心とした「ソーシャルビジネス／コミュニティビジネス（以下、「SB/CB」という）」の協働・連携を促進するため、PSCが推進してきた「企業&NPO協働アイデアコンテスト」「企業・市民・NPO コラボ400」事業の成果・ノウハウ等を、全国の中間支援NPOに移転した。

「地域の中間支援スキーム・ノウハウの標準化事業」「地域中間支援機関の担い手育成事業」という2つの枠組みで事業を実施。 (収入規模 8,687千円)



目的	<ul style="list-style-type: none"> ・PSCの持っているNPO(SB/CB)と企業の協働・連携ノウハウを、全国5カ所の中間支援NPOに移転し、協働を推進する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成のためのマニュアルづくり。 ・ノウハウ移転先に、企業との連携を担うことのできる担当者を各1名以上置く。 ・各地域で経済団体との協働・連携を構築し、次年度協働アイデアコンテスト等を行えるよう支援する。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・京都、広島では地域経済団体と次年度連携事業の計画が進行中、神奈川は県と連携して協働アイデアコンテスト開催が決定、三重、栃木では経済団体と前向きな検討が行われる等、ノウハウ移転が進みつつある。 ・事業の成果物として「NPO×企業 協働推進Q&A(解説付)」と「“NPO&企業”協働コーディネーター人材育成プログラム」の2冊を制作。今後の協働コーディネーター養成に向けて、大いに活用可能。 ・5カ所の移転先にそれぞれ担当者を1名以上置くことができたが、引き続き地域の企業、NPOに対して「企業とNPOの協働」の啓発が必要である。 ・課題としては、補助対象とならなかった人件費や事業費が多く出たこと。

地域の中間支援スキーム・ノウハウの標準化事業

1) 検討委員会・有識者会議の設置

【検討委員会】PSCが培ったノウハウを整理し、協働・連携の成功要因を分析、マニュアル化を図った。

◆検討委員:

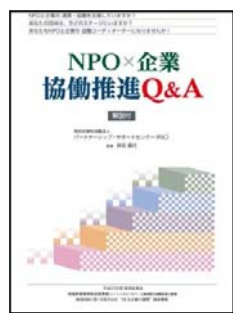
面高俊文氏(元㈱デンソー総務部長)
 河井孝仁氏(東海大学文学部広報メディア学科 教授)
 小室達章氏(金城学院大学現代文化学部情報文化学科 准教授)
 杉田教夫氏(元(N)パブリックリソースセンター プログラムオフィサー)
 横山恵子氏(神戸学院大学経営学部 教授)

【有識者会議】 専門家が、成功要因分析・マニュアル化を別の視点で考察検証した。

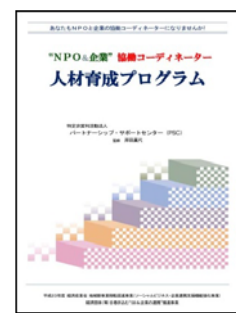
◆専門家:

榊原 元氏((財)中部産業・地域活性化センター総務企画部長)
 岩原明彦氏(㈱デンソー 経営企画部 CSR 推進室長)
 高浦康有氏(東北大学大学院経済学研究科 准教授)
 安藤明夫氏(中日新聞社 編集委員)
 津田秀和氏(愛知学院大学経営学部 准教授)

- ①「企業とNPOの協働」と、企業とNPOの協働を推進する「中間支援NPOと経済団体(等)との連携・協働」をそれぞれ明確にするため、パートナーシップ・サポートセンターが行ってきた協働支援の推進過程を明らかにし分析、スキームとしてまとめた。
- ②「企業とNPOの協働」、「中間支援団体と経済団体による連携・協働」のスキームをそれぞれ5つの段階(ステージ)にまとめ、さらに各段階の課題、行動などを設問化し、「NPO×企業 協働推進Q&A(解説付)」「“NPO&企業”協働コーディネーター人材育成プログラム」としてテキストを作成した。



(B5判 51ページ)



(B5判 11ページ)

<検討会議>

	日時	会場	内容
第1回	5月15日(日)	池下ピアザ	マニュアルの概要の検討を行い、アドバイザーと事務局でマニュアルのイメージを共有した。
第2回	6月26日(日)	ファースト池下ビル 8F 会場	専門家も参加の上、移転先の第1回集合型研修と同時開催。移転先への事業説明を行い事業の意図を理解した。各地域の協働連携の状況・移転先の要望聞き取り、ディスカッションを行った。
第3回	7月10日(日)	池下ピアザ	第2回の要望・ディスカッションの内容を項目化、基本的な協働連携の流れをまとめた。また PSC の成功実績をまとめ分析方法を検討した。
第4回	11月13日(日)	池下ピアザ	・第1回専門家会議の報告、中間支援スキーム・ノウハウの標準化事業について ・地域中間支援機関の担い手育成事業・第2回ハンズオン支援報告
第5回	12月26日(月)	サンコート池下 2F 会場	・マニュアル作成 協働アイデアコンテスト開催過程の抽象化について検討 ・P賞事例分析検討、「協働の流れ」から人材育成プログラムへの展開を検討
第6回	1月25日(水)	池下ピアザ	・マニュアル骨子版の検証、全体の構成と内容・協働アイデアコンテスト事業化の流れ検証 ・人材育成プログラムの対象となる人、方向性を決める
第7回	2月25日(土)	池下ピアザ	・マニュアル骨子版の検証、全体の構成と内容・設問と解説 ・人材育成プログラム作成にかかる方針決定

<有識者会議>

	日時	会場	内容
検討会議参加	6月26日(日)	ファースト池下ビル 8F 会場	第2回検討委員会・移転先の第1回集合型研修と同時開催した。アドバイザーとともに、各地域の協働連携の状況・移転先の要望聞き取り、ディスカッションを行った。
第1回	10月17日(月)	サンコート池下 8F 会場	検討委員会でまとめたマニュアルの基本的な構成と項目化する内容に関して、また移転先でのハンズオン支援活動に関して指導が行われた。
第2回	2月25日(土)	池下ピアザ	・マニュアル骨子版の検証、全体の構成と内容・設問と解説 ・人材育成プログラム作成にかかる方針決定

地域中間支援機関の担い手育成事業

◆ノウハウ移転先/担当者:

とちぎボランティア NPO センター「ぼ・ぼ・ら」(栃木県)/小林有見子
 ソーシャルコーディネーターかながわ(神奈川県)/手塚明美
 (N)Mブリッジ(三重県)/中川絵美子、桑田一真
 (N)きょうと NPO センター(京都府)/内田香奈
 (N)ひろしま NPO センター(広島県)/松村 渉

1) 集合型研修

「SB&企業連携推進」と本事業の意義や役割の認識、協働・連携推進のための人材育成プログラムを3回実施。

<集合型研修>

	日時	会場	内容
第1回	6月26日(日)	池下ピアザ	事業説明を行った。第2回検討会議を同時開催し、アドバイザー・専門家も含めてディスカッションを行い、移転先の地域の状況、要望などを聞いた。
第2回	11月26日(土)	名古屋国際センター別棟ホール	ガイダンス、パートナーシップ大賞最終審査・表彰式への参加
第3回	12月16日(金)	名古屋栄ビル 12F	ガイダンス、協働アイデアコンテスト最終選考会への参加

<ハンズオン支援/成果共有・交流事業>

		とちぎボランティア NPO センター「ぼ・ぼ・ら」	ソーシャルコーディネーターかながわ	(N)Mブリッジ	(N)きょうとNPOセンター	(N)ひろしまNPOセンター
ハンズオン支援	第1回	日時	8月9日(火)	9月8日(木)	8月24日(水)	8月26日(金)
	第2回	日時	10月12日(水)	10月4日(火)、18日(火)	10月3日(月)、4日(火)	10月7日(金)
		協働事業名	古本ネットワークで拓く共生社会事業	キフボン・プロジェクト事業	キレイの力で復興支援りびボラ事業	子どもたちに給食を届ける、心のそしな事業
	第3回	日時	—	—	2月15日(水)	1月26日(木)
成果共有・交流事業	日時	2月15日(水)	3月8日(木)	2月28日(火)	2月21日(火)	3月9日(金)
	会場	栃木県自治会館 403 会議室	かながわ県民センターホール	松阪商工会議所 3F 第1研修室	京都私学会館2階中会議室	広島市まちづくり市民交流プラザ

2) ハンズオン支援

移転先の中間支援 NPO に「企業と NPO の協働」を理解するため、「企業と NPO の協働」事業の現場を体験した。さらに「協働アイデアコンテスト」「パートナーシップ大賞」の参観後に協働評価を体験し、中間支援 NPO の役割を共有した。また、次年度の連携事業開催に向けて、地域経済団体(等)も交えて検討・アドバイスをを行った。

3) 成果共有・交流事業

シンポジウム・勉強会など、次年度の連携事業開催に向けて、地域経済団体(等)と情報交換・共有、ネットワークづくりなどを行った。



(3) 『協働&協創型』 ネットワーク促進事業

＜愛知県委託事業・新しい公共支援事業基金事業 NPO 等活動基盤整備事業＞

NPO 等が活動を継続・発展させるための基盤整備を図ることを目的に、「新しい公共」の担い手育成と協働ネットワーク形成の促進に取り組んだ事業。「協働できる NPO・市民づくり」をめざし、企業、行政、NPO 等、多様な担い手が参画する「協働の場」づくりの取り組みは、「新しい公共」のしくみづくりへの一歩となった。
(収入規模 6,900 千円)



目的	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい公共」の担い手である NPO 等に対して、多様な主体間の交流促進、協働・連携の円滑化につながるネットワークを形成するための取り組みを行う。
目標	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい公共」の担い手養成のための講座 受講者延べ 50 名 「新しい公共」を見据えた、多様な主体の協働ネットワークができる。 協働のネットワークづくりに向けた課題を明確化する。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 講座受講者延べ 39 団体（48 名）であり、達成率 96%。NPO 等の協働相手は企業等さまざまな主体があるという理解が進み、新しい公共づくりへの意欲を高めることができた。受講団体のうち、フォーラムへの出展や参加および協働相談を利用した団体が約 4 割を占め、各団体が協働にふみ出すきっかけとすることができた。 多様な主体で構成する「協働ネット」を、協働ネットワークづくり促進のモデル事例として提示することができた。また、地域での協働ネットワークづくりにおける課題と解決の方向性が明確になり、今後の展開を示すことができた。 協働ネットワークフォーラムでは、目標（100 名）を大幅に上回る 316 名（316%）の参加を得て、多様な主体間の交流の場および協働マッチングの場としても一定の役割を果たすことができた。出展団体を中心に協働に向けての具体化が進み、今後の「協創」に向けての展開が期待できる。 この事業を通じて 54 の NPO を支援することができた。 「新しい公共」の担い手の裾野を拡大していくためには、基本的な視点の養成とともに、自ら考え、行動につなげるための仕掛けを行う必要がある。

1) 「新しい公共」の担い手養成講座の開催

・対象：NPO 等(NPO 法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協働組合等)

・内容

日時	11 月 11 日(金) 10:00~16:00
テーマ	「新しい公共」の「担い手」ってなあに？
会場	ウィルあいち 2F セミナールーム 5
講師	岸田真代 (PSC 代表理事)

日時	11 月 30 日(水) 10:00~16:00
テーマ	あなたの地域で協働のネットワークをつくらう
会場	ウィルあいち 2F あいち NPO 交流プラザ会議室
講師	市川博美氏 (PSC 理事)

・受講者数：

第1回 21 団体(25 名)、第2回 18 団体(23 名)

2) 協働ネット (県レベルの協働ネットワークの呼称) の設置

企業、行政、NPO 等の多様な主体で構成する会議体「協働ネット」を設置。中間支援組織および現場で活動する NPO 等の視点を取り入れるため、一部の委員を公募した。

- ・募集期間：9 月 16 日(金)~9 月 30 日(金)
- ・選考 :10 月 11 日(火)(応募団体数 5 団体)
- ・結果通知：10 月 12 日(水)

・協働ネット会議の開催

第1回	日時	10 月 19 日(水) 14:00~17:00
	会場	ウィルあいち 3F 会議室 3
	議題	・地域における協働・連携についての現状 ・協働ネットワークづくりについての意見交換
第2回	日時	12 月 13 日(火) 14:00~17:00
	会場	ウィルあいち 2F セミナールーム 4

第3回	日時	1月12日(木)14:00~17:00
	会場	ウィルあいち 3F 会議室 3
	議題	・地域での展開に向けた課題解決策の検討
第4回	日時	2月17日(金)14:00~17:00
	会場	ウィルあいち 3F 会議室 3
	議題	・協働ネットでの取り組みの活用、ふりかえり

◆協働ネット構成員

【行政】

中野充康氏(県民生活部社会活動推進課主幹)
 中谷利顕氏(名古屋市市民経済局地域振興部主幹)
 大塚正則氏(小牧市市長公室協働推進課主査)
 松井雄一郎氏(豊橋市文化市民部市民協働推進課課長)

【経済団体等】

宮田尚芳氏((財)中部産業・地域活性化センター 常務理事・事務局長)

徳升忍氏(愛知中小企業家同友会副代表理事)
 長谷川宜史氏(小牧商工会議所総務課長)
 鈴木拓也氏(豊橋商工会議所総務部長兼地域振興部長)

【労働組合】

山本昌弘氏(日本労働組合総連合会愛知県連合会副事務局長)

【学識者】

羅一慶氏(中京大学総合政策学部教授)

【社会福祉協議会】

横山明泰氏(愛知県社会福祉協議会地域福祉部部长)

【NPO等】

伊藤かおり氏((N)こまき市民活動ネットワーク事務局長)
 河村八千子氏((N)フロンティアとよはし理事長)
 半田鑛司氏(鳴子さずなの会代表)
 水谷久美氏((認N)あいち骨髄バンクを支援する会理事兼事務局長) *公募委員

榊原清乃氏(ママスタート・クラブ代表) *公募委員

【コーディネーター】

岸田真代(PSC代表理事)

- ・趣旨:担い手の協働ネットワークの定着に向けて、全県的な交流促進と協働ネットワークづくりの啓発を図る。
- ・参加者数:316名(32市町村から参加)

◆ステージプログラム

【基調講演】

「新しい公共がめざす協働とは」

早瀬昇氏

(内閣府「新しい公共」推進会議 構成員)



【対話シンポジウム】

「はじめよう。協働でつくる新しい地域社会」

・協働事例発表:

多田一彦氏((N)遠野まごころネット 理事長)

・パネリスト:

河村八千子氏((N)フロンティアとよはし 理事長)

戸成司朗氏(東海ゴム工業(株) 社会貢献室室長)

川合信嘉氏(一宮市企画部地域ふれあい課 主任)

・コーディネーター:

岸田真代(PSC代表理事)

【出展者アピールタイム】

・30団体がステージで活動をアピール。

◆フロアプログラム

【ブース交流】

・企業のCSR活動やNPOの活動紹介および協働アイデアのPR

・ブース交流:266件

【協働マッチングボード、協働相談】

・協働アイデア掲出件数:75件

【コラボセッション】

・参加者数:16名

3) 協働ネットワークフォーラムの開催

「協働ネット」での協働の取り組みとして位置付け実施した。

①ブース出展者の募集

- ・募集期間:12月1日(木)~12月25日(日)
- ・応募者数:43社・団体(企業11社、NPO等32団体)
- ・審査:12月28日(水)/あいちNPO交流プラザ
- ・出展者数:38社・団体(企業11社、NPO等27団体)
- ・ブース出展者説明会:1月10日(火)/池下ピアザ(14:00~16:00NPO等、17:00~18:30企業対象)

(P39資料編*3を参照)

②フォーラムの開催

- ・日時:2012年1月27日(金) 開会13:00 閉会17:00
- ・会場:ウィルあいち3階 大会議室(メイン会場)、会議室4(第2会場)、会議室5(第3会場)

4) 協働個別相談会

名古屋市、尾張、三河の各地域にて12回開催。延べ27団体が利用した。

・相談員:PSC 下平恵美、水野真由美、山崎恵美子

5) 「協働ネットワークづくりスタートブック」の作成

協働ネットの取り組みをまとめた「協働ネットワークづくりスタートブック」を作成した。



6) 支援対象

54団体(P39資料編*4を参照)

(4) 環境 NGO・NPOのための運営力パワーアップ研修

<(独)環境再生保全機構 地球環境基金 委託事業>

本年度の新規事業。中部・北陸ブロックにおいて環境保全活動に従事する者を対象に、次世代を担うリーダーとして育成する事業。各活動の専門性を活かしながら、さまざまな主体との連携・協働に向けた企画提案力を習得することを目指した。

段階的にレベルアップできるような講座内容とし、最終的には各団体の現状に基づく企画提案をすることができた。
(収入規模 2,760 千円)



目的	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全分野で活動を行う NGO・NPO を対象に、活動状況を客観的に把握し、さまざまな主体と連携・協働するための企画提案力を習得する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> 受講者：16 名以上 講座アンケート：「とても有意義だった」「有意義だった」という回答が全体の 8 割以上 第 5 回のプレゼンテーションでは、各団体の状況をしっかりと把握した上で、より具体的な企画提案ができるように講座運営、フォロー等を行う。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 受講申込：16 名 講座アンケートでは第 1 回～第 5 回全てにおいて、受講者全員（100%）から「とても有意義だった」「有意義だった」という回答が得られた。組織の運営力を高めるために、段階的に知識を習得することができたと言える。 第 5 回では各団体の現状に基づく企画ができ、他の主体と連携・協働するための基本的な企画提案力の習得につながった。 参加対象が「環境保全分野で活動を行う NGO・NPO」と限定されていたことに加えて「4 回以上参加できること」を条件にしたため、受講者募集が思うように進まなかった。今後は、単発で参加できる講座内容にすることも検討していきたい。

各団体の活動状況を客観的に把握することから始まり、それぞれのステークホルダーを分析し、他の主体との連携・協働に向けた企画づくりとプレゼンテーションを実施。



■ 講座内容

(時間/10:00~16:00、会場/池下ピアザ)

日時	テーマ	講師	受講者数
10月8日(土)	リーダーシップ研修(自己分析)	岸田眞代 (PSC 代表理事)	11 名
10月22日(土)	地域住民の視点から活動を考える	藤井絢子氏 ((N)菜の花プロジェクト 代表)	10 名
	税制・財政の視点から活動を考える	足立治郎氏 ((N)「環境・持続社会」研究センター)	
11月12日(土)	ステークホルダーについての基礎研修	戸成司朗氏 (東海ゴム工業株式会社 社会貢献推進室室長)	12 名
12月3日(土)	協働による環境活動を考える	杵本育生氏 ((N)環境市民 代表)	8 名
	協働基礎研修/協働のアイデア探し	岸田眞代 (PSC 代表理事)	
1月21日(土)	プレゼンテーション、ふりかえり	岸田眞代 (PSC 代表理事)	9 名

* 地球環境基金の講座・研修アドバイザーとして、今永正文氏(プロセスコンサルタント WARAKU 代表、環境ボランティアリーダー会・事務局長)が 10 月 8 日と 1 月 21 日に参加。

3. コーディネート事業

(1) なごや環境大学

実行委員会事務局(次長)として名古屋市から業務委託を受け、2006年4月から2012年3月まで6年間実施。

熊沢豊氏

2005年度PSC主催「NPO起業・就労科」を修了後、なごや環境大学実行委員会事務局次長として活躍しました。



(2) 「PSC 新春交流会」の開催

新しい年のはじめに、NPOと企業の交流の場を設けた。参加者同士の歓談に加え、「協働マッチング・ゲーム」として、即興で協働アイデアを考える、新春企画を実施した。NPO法人パンドラの会による食事のケータリング・サービスも好評だった。

- ・日時:1月30日(月)18:00~20:00
- ・場所:サンコート池下8階
- ・参加者数:45名



協働マッチング・ゲームでは、今年もたくさんのアイデアが出されました。

4. コンサルティング事業

(1) ステークホルダー・ダイアログ及びCSR推進による中小企業の活力向上事業

＜愛知県地域産業課委託事業 ふるさと雇用再生特別基金事業＞

「NPO 視点による CSR 支援」として、2 年目となる事業。経営改善・CSR 推進をめざす中小企業を新たに 3 社選定し、昨年度からの継続 3 社と併せ事業を展開。ISO26000 の発行に伴い、CSR 推進のための取り組みを一層重視した形で実施した。
 (収入規模 34,921 千円)



目的	・ステークホルダー・ダイアログを通じて、企業が社会や地域から求められているものを再確認し、経営改善や CSR 推進につなげて中小企業のさらなる活性化を図る。
目標	・中小企業の CSR 推進を支援し、経営改善の中で NPO との協働を拡大する。 ・継続 3 社：各社 CSR 委員会を設置し、CSR レポートを作成する（合同発表会にて発表）。 ・新規 3 社：各社ステークホルダー（社員・取引先・地域 NPO）によるダイアログ（3 回実施）とマルチ・ステークホルダー・ダイアログの実施。改善提案書の作成。CSR 委員会を設置し、次年度以降の活動につなげる。
成果と課題	2010 年度からの継続企業 3 社 ・各社 CSR 委員会を設置し定例開催を実施。職員の意識変化と社内の活力化につながった。CSR 委員会で CSR 報告書（レポート）を作成し、3 社にて合同発表会を開催。参加者 63 名。 ・企業によって差はあるものの各社とも NPO との協働を視野に入れ CSR を進めている。 2011 年度新規企業 3 社 ・各社ステークホルダー・ダイアログの実施をもとに、経営改善の提案ができた。CSR 委員会の設置と今後、NPO との協働も含めた CSR 活動の実践へ展開中。 ・また、ステークホルダー・ダイアログの実施から ISO26000 の 7 つの中核主題に対応して数値化した分析ができた。

2010 年度からの継続企業（3 社） ～太陽電化工業(株)、南部薬品(株)、(株)桃の館～

1) CSR 推進委員会等の発足と CSR 推進活動

社員を中心に 6～8 名程度で委員会を構成。CSR レポートの作成と NPO との協働による CSR 推進を目的に、毎月定例開催し、CSR 活動の推進を支援した。

【太陽電化工業(株)】

・委員会の実施：4月19日(火)、5月23日(火)、6月28日(火)、7月26日(火)、8月23日(火)、9月13日(火)、9月20日(火)、10月11日(火)、11月2日(水)、11月8日(火)、12月27日(火)、1月24日(火)、2月27日(火)、3月26日(火)

- ・1月27日(金)：愛知県協働ネットワークフォーラム（PSC 事務局）に参加して協働を検討
- ・3月20日(火)：防災セミナーにて社員心得・作業マニュアルの作成（講師：鷲見修氏（PSC 評議員））
- ・リスクマネジメントと BCP（事業継続計画）の取組に向けて検討

【南部薬品(株)】

・委員会の実施：5月19日(木)、6月16日(木)、7月21日(木)、8月18日(木)、9月13日(火)（社長参加）、10月20日(木)、11月17日(木)、12月15日(木)、1月19日(木)、2月16日(木)、3月15日(木)

- ・12月28日(水)：管理者検討会議にて、PSC との協働で域・高齢者見守りに関するネットワークづくりを進める。（(独)福祉医療機構に助成金を申請）

【(株)桃の館】

・委員会の実施：4月21日(木)、5月17日(火)、6月24日(金)、7月19日(火)、8月22日(月)、10月12日(水)、11月2日(水)、11月29日(火)、12月21日(水)、1月17日(火)、3月29日(木)

- ・新工場建設を機会に、可視化などを通じて地域や消費者とのコミュニケーションづくりを検討

2) CSR 研修の実施

各社の CSR 委員に対して、CSR 活動の意味や役割の理解、実践につなげるための研修を実施した。

- 【太陽電化工業㈱】 4月26日(火) (講師:岸田眞代)
- 【南部薬品㈱】 6月16日(木) (講師:岸田眞代)
- 【㈱桃の館】 6月24日(金) (講師:阿部聡一郎)

3) CSR 報告書(レポート)の作成指導

- ・作成指導:1)の委員会において実施
- ・CSR 報告書完成:11月上旬



4) 3社合同による活動報告会の開催

- ・日時:11月29日(火) 14:00~16:30
- ・場所:ウインクあいち 1203 会議室
- ・参加者数:63名
- ・内容:
CSR レポートの発表
太陽電化工業㈱・南部薬品㈱・㈱桃の館の CSR 委員
6社の代表者による合同ディスカッション
(進行役:木村敏正氏(PSC 理事))

- 6月29日(水):従業員グループ、
- 7月13日(水):取引先グループ
- 7月27日(水):地域・NPOグループ
- 8月30日(火):マルチ・ステークホルダー

【㈱ドライバーサービス】

- ・テーマ:企画バリューの再発見、事業戦略の新発見
- ・ファシリテーター:山崎英夫氏(㈱On Earth)
 - 7月15日(金):取引先グループ
 - 7月25日(月):地域&NPOグループ
 - 8月11日(木):従業員グループ
 - 9月1日(木):マルチ・ステークホルダー

【㈱二和印刷紙業】

- ・テーマ:ハードから人(ソフト)へ ~印刷業界の新たなステージ(領域)へ挑戦~
- ・ファシリテーター:市川博美氏(PSC 理事)
 - 7月7日(木):従業員グループ
 - 7月29日(金):地域・NPOグループ
 - 8月5日(金):取引先グループ
 - 8月25日(木):マルチ・ステークホルダー

- 3) CSR 推進による活力向上に向けた改善提案書の作成
2)で実施したダイアログの分析から得られた結果をまとめ、各企業のCSR活動について提案。

2011年度 新規企業 (3社)

~(株)真誠、(株)ドライバーサービス、(株)二和印刷紙業~

1) 対象企業の選定

愛知ブランド企業や経済団体会員として、社会活動を積極的に実施している20社を超える企業の中から、名古屋地区・尾張地区・三河地区それぞれ1企業を選定。

- ・(株)真誠(北名古屋市・食品会社)
- ・(株)ドライバーサービス(刈谷市・自家用自動車運行管理会社)
- ・(株)二和印刷紙業(名古屋市・印刷会社)

2) ステークホルダー・ダイアログの開催

各社それぞれのテーマにもとづき3つのSHとその代表者らによるマルチ・ステークホルダー・ダイアログを実施した。



【(株)真誠】

- ・テーマ:50周年を迎え、「全ての人を笑顔」にするために「食の安全」を使命とする真誠がこれからやるべきことは何か
- ・ファシリテーター:岸田眞代(PSC 代表理事)



4) CSR委員会の設置とCSR研修

	(株)真誠	(株)ドライバーサービス	(株)二和印刷紙業
社内(経営層・従業員)への説明・研修	2月14日(火)	11月28日(月)	3月22日(木)
CSR委員会	3月23日(金)	12月20日(火) 3月14日(水) 3月28日(水)	12月12日(月) 12月28日(水) 3月17日(土)
CSR研修	2月14日(火)	2月14日(火)	1月5日(木)

- ・CSR研修
【(株)真誠】 役員・幹部クラス9名を対象に、「経営改善検討会」を開催
【(株)ドライバーサービス】 管理社員10名を対象に、「サービスの見える化」についてワークショップ
【(株)二和印刷紙業】 全社員56名を対象に、集結の決起大会にて「CSR活動テーマ」についてワークショップ

(2) 三井住友海上「NPO カフェ・アイリス」支援

月 1 回の定例運営会議ほか、カフェへの関わり方をより深めるとともに、利用者数アップを目指す。
(運営: 社会福祉法人ゆめネット)

【運営会議】

4月20日(水)、5月20日(金)、6月21日(火)、7月21日(木)、8月25日(木)、9月20日(火)、
10月20日(木)、11月24日(木)、12月21日(水)、1月19日(木)、2月21日(水)、3月22日(木)

- ・7月1日(金)～ 閉店時間を 18:00 から 17:00 に変更。(節電への配慮)
- ・7月1日(金)～ しらかわホール内バーコーナー「カフェ&バーしらかわ」(名古屋市中区栄 2-9-15)の運営を開始。ホールで演奏会等がある日のみ営業。



(3) PSC学習会の開催

企業、行政、NPO 等を対象とした学習会を 3 回開催。

日時	テーマ	会場	講師	参加者数
10月6日(木) 17:30~20:00	NPO 法改正&新寄付税制地域学習会 (NPO法の改正、新寄付税制) 	サンコート 池下 8F	関口宏聡氏 (N)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 プログラム・ディレクター)	56名
12月7日(水) 10:00~17:00	「NPOのための広報スキルアップセミナー」 ※(N)日本NPOセンター、(株)電通との共催 	(株)電通 中部支社	松井薫氏 (株)電通関西支社 シニアクリエイティブディレクター) 岡本達也氏 (同中部支社 クリエーティブソリューション局 シニア・クリエイティブ・ディレクター)	72名
2月22日(水) 15:00~17:00 17:30~19:30	会計学習会 第1部・入門編 (会計の初歩、NPO 会計基準の概要) 第2部・応用編 (NPO会計基準、認定NPO 取得) 	池下ピアザ	早坂毅氏(税理士)	26名

(4) NPO・企業・各種相談等

- ・NPO 相談等: NPO 全国福祉理美容師養成協会、NPO 癒しの宿 福の神 吉良の庄 他
- ・企業相談等 : 中部電力(株)、東海ゴム工業(株)、東海労働金庫、(株)三五、(社)ナゴヤハウジングセンター 他

5. 教育啓発事業

(1) 緊急人材育成支援事業「社会的事業コーディネーター養成科（第1期、第2期）」

＜中央職業能力開発協会 委託事業＞

2010年度からの継続事業。社会的事業（NPO含む）分野への起業・就労をする人材育成のための講座を実施した。

講座カリキュラムは「【STEP1：理解】社会的事業コーディネーターとは？」

「【STEP2：参加】コーディネーターに必要なスキル」「【STEP3：実践】コーディネーターの仕事」という3段階で構成し、講座で得た知識・スキルが確実に習得できるよう、学科と演習・実技を組み合わせさせた内容とした。

（収入規模 20,240千円）



目的	・社会的事業分野（NPOを含む）について理解し、コーディネーターとしての基礎を身につける。「社会的事業分野での自立（起業含む）」や「コーディネート・スキルが活かせる職場への就労」を目指し、失業者・離職者を主な対象とした委託訓練を実施する。
目標	・出席率とSTEP1～3の終了時に行うテストの点数がそれぞれ7割以上 ・全体として、起業・就職率：7割以上（講座修了から3ヵ月時点）
成果と課題	<p>【第1期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率：94.0%、認定試験の平均点：77.8点 ・受講生：19名、修了者：16名 ・2011年11月（修了から3ヵ月時点）の就職率は、78.6%（修了者のうち「就職・起業した」が10名、「他の訓練受講中・進学・その他」が3名）。 <p>【第2期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率：85.3%、認定試験の平均点：85.2点 ・受講生：17名、修了者：14名 ・2012年3月（修了時点）の就職率は、52.9%（修了者のうち「就職・起業した」が6名）。6月（修了から3ヵ月時点）の就職率7割以上を達成するため、引き続き情報提供等を行う。

1) 募集と選考

【第1期】

一次募集：2010年11月15日（月）～2011年1月6日（木）

選考日：1月7日（金）（応募者13名）

二次募集：2011年1月8日（土）～1月24日（月）

選考日：1月26日（水）（応募者10名）

【第2期】

一次募集：2011年6月20日（月）～8月9日（火）

選考日：8月10日（水）（応募者18名）

二次募集：2011年8月11日（木）～9月1日（木）

選考日：9月2日（金）（応募者8名）

2) 訓練期間

【第1期】

2月7日（月）～8月5日（金）（計100日間／600時間）

【第2期】

9月12日（月）～3月16日（金）（計100日間／600時間）

3) 講座内容

STEP1～3を通して、段階的に知識・スキルを習得する。また、NPO等へのインターン研修やパソコン研修なども実施する。

【STEP1:理解】社会的事業コーディネーターとは？

・社会的事業（NPO含む）に関する基礎知識やコーディネーターとしての基本知識を習得。

・講師：面高俊文氏、市川博美氏、加藤歌子氏、川上里美氏、服部則仁氏、岸田眞代ほか

【STEP2:参加】コーディネーターに必要なスキル

・コーディネートにかかわる様々なスキル（傾聴、プレゼンテーション、ファシリテーション、文章力、広報力、企画づくり等）を習得。

・講師：河井孝仁氏、戸成司朗氏、荻野俊子氏、山崎英夫氏、安藤明夫氏、高橋弘恵氏、岸田眞代ほか

【STEP3:実践】コーディネーターの仕事

- ・事業計画または小論文の作成を通して、修了後の各自の方向性を見出す。
- ・講師：木村敏正氏、堀越哲美氏、井田克一氏、岸田真代ほか

4) 受講生数／修了者数

【第1期】

受講生：19名、修了者：16名
(体調不良・家庭の事情などによる途中退校3名)

【第2期】

受講生：17名、修了者：14名
(就職決定による途中退校3名)

(2) その他講師派遣等

行政や企業、各団体等からの要請に応じて講師を派遣した。

- ① 6月15日(水) 明治大学講義
- ② 9月9日(金) 東京都「子育て会議」にて講義
- ③ 9月28日(水) 愛知県研修事業ボランティアネイバーズ講座
- ④ 11月9日(水) ㈱デンソーユニティサービス「ビジネスマナー&マインド研修」
- ⑤ 11月19日(土) 三島市生涯学習センター講演
- ⑥ 12月6日(火) 岐阜県社協社会貢献セミナー講演
- ⑦ 12月8日(木) しが NPO センター「協働コーディネーター講座」講師
- ⑧ 1月17日(火) 福祉医療機構／講師派遣
- ⑨ 1月20日(金) (社)CSR プラットホーム京都「企業と NPO 協働のフェスタ」講演(京都市)
- ⑩ 2月16日(木) 三井物産㈱ステークホルダー・ダイアログ(SHD)
- ⑪ 2月23日(木) 尾張旭市職員 NPO 基礎研修
- ⑫ 3月2日(金) (社)CSR プラットホーム京都「企業と NPO 協働のフェスタ」講演(綾部市)
- ⑬ 3月19日(月) 香川県「企業と地域の成長をめざす“協働”とは」講演
- ⑭ 3月21日(水) 徳島県「NPO 等と企業・行政との協働を考えるフォーラム」基調講演

* ⑧は藤崎明子氏(税理士)、⑩は水野、その他は岸田が担当

6. 調査研究事業

本年度該当事業なし。

7. 情報受発信事業

(1) 「PSC Report」の発行（奇数月1日）

Vol.	発行日	内容
77	5月1日	東日本大震災お見舞い、愛知県「中小企業の活力向上事業」2年目スタート、「子育て支援協働フォーラム」開催報告、2010年度主な事業、あいち未来塾成果報告会・卒塾式開催報告、定時総会案内、ボランティア募集、新規職員紹介他
78	7月1日	「第8回パートナーシップ大賞」募集、経産省「SB&企業の連携推進事業」始動、2011年度主な事業決定、2011年度新理事紹介、「中小企業の活力向上事業」本年度新規3社決定、「社会的事業コーディネーター養成科(第1期)」インターン研修実施報告、評議委員会開催他
79	9月1日	「SB&企業の連携推進事業」ハンズオン支援開始、「中小企業の活力向上事業」SHD本格始動、「社会的事業コーディネーター養成科(第1期)」修了、カフェ&バーしらかわOPEN、「協働アイデアコンテスト」募集、「環境NGO・NPOのための運営力パワーアップ研修」受講生募集、「NPO法改正&新寄付税制」地域学習会参加者募集他
80	11月1日	「第8回パートナーシップ大賞」最終6事業決定、「SB&企業の連携推進事業」第2回ハンズオン支援(協働事例調査同行)実施、「中小企業の活力向上事業」マルチSHD開催・3社合同発表会日時決定、「改正NPO法&新寄付税制」地域学習会開催、「環境NGO・NPOのための運営力パワーアップ研修」開始、「社会的事業コーディネーター養成科(第2期)」開講他
81	1月1日	新年あいさつ、「第8回パートナーシップ大賞」最終審査およびグランプリ発表・表彰式開催報告、「第6回企業&NPO協働アイデアコンテスト」最終選考会開催報告、協働&協働型ネットワーク促進事業「新しい公共の担い手養成講座」開催報告、「社会的コーディネーター養成科(第2期)」インターン研修、「SB&企業の連携推進事業」集合型研修、「中小企業の活力向上事業」CSR活動報告会開催報告、「NPOのための広報スキルアップセミナー」開催報告他
82	3月1日	協働&協働型ネットワーク促進事業「企業・NPO等・行政 協働ネットワークフォーラム」開催報告、「NPO法人会計学習会」開催報告、「SB&企業の連携推進事業」成果共有・交流事業、「環境NGO・NPOのための運営力パワーアップ研修」終了報告、「中小企業の活力向上事業」CSR活動推進、新春合宿・新春交流会報告他

(2) ホームページ等の運営他

ホームページへの新着情報の更新(週1回程度)、「PSC Report」のWEB公開、facebookの活用(2012年3月～)

* PSC ホームページ <http://www.psc.or.jp>

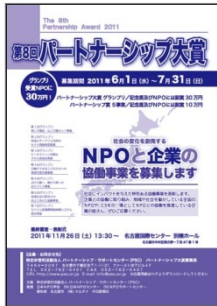
【主なコンテンツ】

- ・PSCについて(理念・事業報告他)
- ・NPO&企業「パートナーシップ大賞」
- ・CSRとNPO
- ・講演・セミナー等のご案内
- ・NPOと行政の協働・支援
- ・出版書籍



(3) チラシ等

各事業報告で記載したポスター・チラシの他に、以下のチラシを発行した。



「第8回パートナーシップ大賞 アイデア募集チラシ」



「第8回パートナーシップ大賞 最終選考会 案内チラシ」



「第6回企業&NPO協働アイデアコンテスト」アイデア募集チラシ



「第6回企業&NPO協働アイデアコンテスト」最終選考会案内チラシ



「協働ネット」構成員募集チラシ



「新しい公共の担い手養成講座」受講生募集チラシ



「協働なんでも相談会」相談者募集チラシ



「協働ネットワークフォーラム」出展者募集チラシ



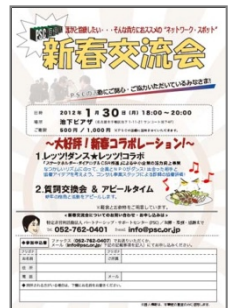
「協働ネットワークフォーラム」当日案内チラシ



「運営力パワーアップ研修」受講生募集チラシ



「社会的事業コーディネーター養成科」受講生募集チラシ



「新春交流会」参加者募集チラシ



「CSR活動報告会」参加者募集チラシ



「NPO 法女正&新寄付税制」地域学習会 参加者募集チラシ



「NPO 法人会計学習会」参加者募集チラシ

8. 提言活動・その他の事業

(1) 行政各種委員としての提言活動

- ① 愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」:第2作業部会7月14日(木)、12月20日(火)、1月17日(火)、2月17日(金)、報告会「「あいち協働ルールブック」推進フォーラム」3月7日(水)
- ② なごや環境大学(実行委員):幹事会4月22日(金)・10月11日(火)、3月14日(水)
総会5月23日(月)、第2回戦略検討会議6月17日(金)、検討会7月1日(金)・9月28日(水)、ゼミチーム会議10月7日(金)、研究会11月8日(火)、全体会議12月7日(水)、ゼミ書類審査12月15日(木)、ゼミ面接1月18日(水)
- ③ 名古屋市公共事業評価:監視委員会&視察8月8日(月)、監視委員会10月18日(火)、11月1日(火)
- ④ 名古屋市交通問題調査会:7月29日(金)
- ⑤ 東海市まちづくり推進事業審査員:一次審査6月13日(月)、二次審査6月25日(土)
- ⑥ 淡海ネットワークセンター「未来塾」(滋賀県):中間報告会6月12日(日)、運営委員会2月19日(日)
- ⑦ 尾張旭市市民活動促進助成事業候補選定会議構成員:
事業検討5月9日(月)、公開プレゼンテーション5月14日(土)、中間報告会1月28日(土)
- ⑧ 名古屋市公園施設指定管理者選定委員会:6月27日(月)
- ⑨ 名古屋市指定管理:第2回選定委員会8月29日(月)
- ⑩ 名古屋市指定管理者評価委員会:7月1日(金)、7月8日(金)、7月12日(火)、面接9月5日(月)
- ⑪ 名古屋市行政評価:10月12日(水)、説明会10月14日(金)、10月21日(金)
- ⑫ 名古屋緑化基金運用委員会:2月8日(水)

*①⑤⑦は水野、その他は岸田が担当

(2) 各団体との連携

- ① 日本NPO学会 第13回年次大会:理事会3月17日(土)、「CSRと地域社会」発表3月18日(日)
- ② 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(NNネット):総会5月20日(金)
- ③ NPOサポートセンター:全国幹事会4月27日(水)
- ④ 日本NPOセンターCEO会議:6月6日(月)~7日(火)・12月2日(金)、全国会議:8月16日(火)、大阪12月17日(土)
- ⑤ (N)あいち・子どもNPOセンター(理事)
- ⑥ (公財)損保ジャパン環境財団:損保ジャパンCSOラーニング学生説明会・意見交換会4月27日(水)、学生面接6月9日(木)
- ⑦ 愛知県「市町村NPO・ボランティア担当者会議」:事業紹介4月28日(木)
- ⑧ NPO/NGO連絡会総会:院内緊急集会参加5月25日(水)、12月1日(木)
- ⑨ (N)ボラみみより情報局:ヒアリング対応8月26日(金)、総会11月27日(日)
- ⑩ 東日本大震災全国支援ネットワーク(JCN):全体ミーティング9月30日(金)
- ⑪ SR円卓会議:10月5日(水)
- ⑫ 骨髄バンク設立10周年記念イベント参加:10月10日(月)
- ⑬ NNネットCSR大阪セミナー参加:11月18日(金)
- ⑭ (N)全国福祉理美容師養成協会:活動報告会11月28日(月)
- ⑮ NPO会計基準協議会:愛媛集会12月11日(日)
- ⑯ 三井物産(株):セミナー参加12月12日(月)
- ⑰ (社)CSRプラットホーム京都:「企業とNPO協働のフェスタ」後援:1月20日(金)(京都市)、3月2日(金)(綾部市)

(3) 東日本大震災における被災地支援関連事項

- ① 6月17日(金)~19日(日) 第29回 民ボラ in 東北(岩手県遠野市、大槌町、花巻市) ボランティア&視察調査
- ② 11月26日(土) 東日本大震災支援関連の協働事業をパネル展示(パートナーシップ大賞 最終審査・表彰式会場にて)

11月26日(土)▶
パネル展示の様子



■ センターの運営に関する活動

(1) 定時総会

日時:5月28日(土)13:30～

場所:ウィルあいち3階会議室

参加者数:118名(出席:51名、委任状:67名)

内容:2010年度事業報告、2010年度決算報告、2011年度事業計画(案)、2011年度収支計画(案)、その他

◆ 総会時に合わせて、講演会および交流会を実施。

講演会:「中部圏の将来像と地域シンクタンクの役割」

講師:小林宏之氏

(財)中部産業・地域活性化センター(CIRAC)専務理事、PSC理事

交流会:(講演会終了後、名古屋市北区のレストランにて開催)



(2) 理事会

	日時	場所	審議内容
第1回	5月18日(水)	池下ピアザ	2010年度事業報告・決算報告(案)、2011年度事業計画・予算(案)、役員の改選について
第2回	5月28日(土)	ウィルあいち	2010年度事業報告・決算報告、2011年度事業計画・予算(案)、役員の改選について
第3回	11月2日(水)	池下ピアザ	2011年度事業報告・決算報告(中間)
第4回	1月14日(土)	NPO癒しの宿 福の神 吉良の庄	2011年度事業報告・決算報告(中間)、次年度事業計画検討
第5回	3月28日(水)	池下ピアザ	2011年度事業報告・決算報告

(3) 評議員会

年度内に2回開催し、ミッション実現に向けての事業及び企画推進のために評議員会を設置した。

◆ 評議員:

- 相羽博文氏 (㈱東郷製作所 取締役)
- 井田克一氏 (いいもの㈱ 代表取締役)
- 岩岡ひとみ氏 ((N)全国福祉理美容師養成協会 事務局長)
- 岡部扶美子氏 ((N)パンドラの会 代表理事)
- 戸成司朗氏 (東海ゴム工業㈱ 社会貢献推進室室長)
- 林 かぐみ氏 ((財)アジア保健研修所 事務局長)
- 阪野隆起氏 (レイ×アウト 代表)
- 三品雅義氏 (税理士)
- 水谷久美氏 ((N)あいち骨髄バンクを支援する会 理事)
- 安井和史氏 (中電防災㈱ 防災整備部長)
- 山崎嘉郎氏 ((N)環境改善技術推進機構 代表)
- 山本隆彦氏 (三井物産㈱中部支社 副支社長)
- 鷲見 修氏 ((N)レスキューストックヤード 理事)

	日時	場所	内容
第1回	6月8日(水) 17:00～	池下ピアザ	PSC 評議員会の設置について、PSC 評議員紹介、今後の事業展開についての意見交換
第2回	10月20日(木) 17:00～	池下ピアザ	認定 NPO 法人の取得について、今後の事業展開に向けた意見交換、PSC 会員相互の連携・協働の取り組み 等

(4) シニアボランティア会議

月1回の定例会を中心に、PSC の事業との連携を図った。

- ・開催日:4月21日(木)、5月19日(木)、6月16日(木)、9月22日(木)、10月27日(木)、11月24日(木)、12月22日(木)、1月26日(木)、2月23日(木)、3月29日(木)

(5) 事務局運営

月1回の事務局会議を定例開催。

- ・開催日:4月11日(月)、5月9日(月)、6月1日(水)、7月5日(火)、8月1日(月)、9月5日(月)、10月3日(月)、11月4日(金)、12月5日(月)、1月11日(水)、2月6日(水)、3月5日(水)

(6) 年次報告書発行

2010-2011 年次報告書を発行(5月28日(土))。

(7) 事務局の組織体制

本年度は、以下の組織体制で活動に取り組んだ。

